18 放射線医療センター(画像診断部、放射線治療部、IVR診療部、核医学・PET診療部)



(件)

放射線医療センターの業務量は、検査患者数にして183,873件であり、2023年度と比較して1,011件(0.55%)増加した。 画像診断系では一般撮影で0.5%、CT検査で-0.1%、MR検査で-5.8%、透視検査で4.1%であるが、昨年度に比べて、全体と しては、やや検査数の増加傾向がみられた。その中でMR検査の減少は、夜間ルーチン検査の廃止や第1土曜日の休診の影響 によるものだと考えられる。IVR診療系では昨年度と比較して-0.6%のほぼ同等の傾向を示していた。放射線治療系では 1.6%の増加傾向を示した。ただ内照射の腔内照射などは昨年より若干減少した。また今年度は、前立腺シード治療は実施 が少なかった。核医学系ではここ数年、若干ではあるが減少傾向が見られる。

依頼科別での件数では、単純撮影は整形外科、呼吸器内科が全体の40%程度を占めており、昨年とほぼ同様の割合を示していた。CTでは脳神経外科、呼吸器内科、消化器内科、呼吸器外科、肝・胆・膵外科、下部消化管外科、整形外科で全体の半数以上を占めており、多くの診療科において全体的に増加傾向を示した。MRIでは脳神経外科、整形外科、肝・胆・膵内科が全体の約6割程度を占めた。TVセンターの透視検査では消化器内科、整形外科、泌尿器科が全体の約半数を占めていた。IVRセンターにおいては、循環器内科32.1%、放射線科28.3%、脳神経外科22.6%でこの3科で全体の8割以上以上の件数を占めていた。核医学PETセンターでは呼吸器内科、血液内科、乳腺・内分泌外科、呼吸器外科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、泌尿器科の順で多く、その中でも院外の検査依頼が全体の9%を占めていた。画像サービスセンターの処理件数は、CD・DVD 出力処理が全体の約99%を占めており、2023年度と比較しても同等であった。

全体的な稼働件数の傾向は、昨年と比べやや増加傾向にあった。将来的には、人口の減少に伴って、検査数が減少傾向になると思われるが、ここ数年は、まだまだ検査数の増加が見込まれる上に、X線装置の機能向上に伴い、1検査あたり画像枚数が増加することが予測され、今後この大量の画像をどのように扱うかが今後の課題となってくる。画像の保管容量の増加に伴う画像サーバーの増設などハード面での対応も重要になるが、放射線科医の読影負担も増えており、新病院に向けての運用面での検討が大きな課題となってくる。

18-1 2024年度診断治療別撮影件数

(샏	.)

			入院	外来	合 計	構成比率 (%)
	— 6Л.	胸腹部、骨、四肢など	23, 527	44, 103	67, 630	36. 8
	般 撮 影	乳 房	50	1, 577	1, 627	0. 9
		小計	23, 577	45, 680	69, 257	37. 7
そ	乳房生検	1	72	73	0. 04	
	の	骨密度	570	2, 962	3, 532	1. 9
	他	小 計	571	3, 034	3, 605	2. 0
	一般病棟	9, 303	21	9, 324	5. 1	
		救急初療	191	314	505	0. 3
	病	EICU , CCU	5, 637	1	5, 638	3. 1
	室撮影	ICU , HCU	6, 511	2	6, 513	3. 5
画	影	N I C U	1, 313	6	1, 319	0. 7
像診	像	手 術 室	4, 161	2	4, 163	2. 3
断		小 計	27, 116	346	27, 462	14. 9
部		슴 計	51, 264	49, 060	100, 324	54. 6
	C	単 純 C T	9, 005	16, 215	25, 220	13. 7
	T	造 影 C T	3, 429	10, 499	13, 928	7. 6
	合 計		12, 434	26, 714	39, 148	21. 3
	M R	単純MRI	1, 990	9, 382	11, 372	6. 2
1		造影M R I	688	3, 469	4, 157	2. 3
	合 計		2, 678	12, 851	15, 529	8. 4
	透知	X 線 T V	1, 683	1, 743	3, 426	1. 9
	視検	内視鏡	1, 716	844	2, 560	1. 4
	査	術中透視	718	13	731	0. 4
		合 計	4, 117	2, 600	6, 717	3. 7

			入 院	外来	숨 計	構成比率 (%)
- > 0	ш	診断	889	5	894	0. 5
	管	I V R	1, 952	9	1, 961	1. 1
	系	小 計	2, 841	14	2, 855	1. 6
	非	診断	39	0	39	0. 02
R 診	血管	I V R	166	339	505	0. 3
療	系	小 計	205	339	544	0. 3
部	С	アンギオCT	131	0	131	0. 1
	T	CT下IVR	452	0	452	0. 2
		合 計	3, 629	353	3, 982	2. 2
		外 照 射	2, 631	3, 186	5, 817	3. 2
	外	強度変調照射	2, 471	2, 273	4, 744	2. 6
т,	照	定位照射	6	57	63	0. 03
放 射	射	全身照射	25	0	25	0. 01
線		小計	5, 133	5, 516	10, 649	5. 8
治療	内	腔内照射	39	98	137	0. 1
療部	照	前立腺シード	3	0	3	0. 002
	射	小計	42	98	140	0. 1
	治	療 C T	307	563	870	0. 5
		合 計	5, 482	6, 177	11, 659	6. 3
核P診	核	医学検査	386	1, 127	1, 513	0. 8
医E療	PET/CT 検 査		47	4, 934	4, 981	2. 7
学T部	アイソトープ内用療法		0	20	20	0. 01
•		合 計	433	6, 081	6, 514	3. 5
総	総合計		80, 037	103, 836	183, 873	100. 0

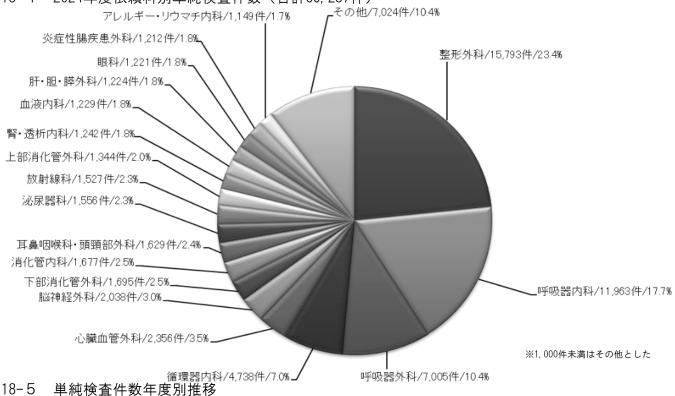
18-2 年度別項目別画像サービスセンター処理件数 (件)

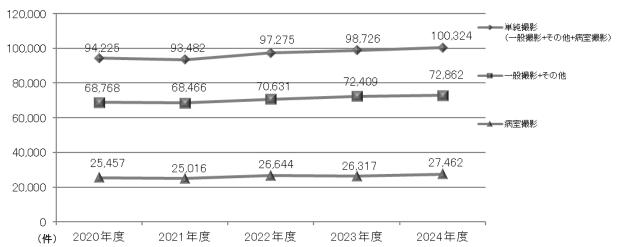
区分	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2024年度 構成比率 (%)
CD·DVD入力	11	13	8	1	0. 01
C D · D V D 出力	10, 807	11, 601	11, 321	11, 374	99. 1
フィルム入力	52	39	25	23	0. 2
フィルム出力	86	60	106	82	0. 7
合 計	10, 956	11, 713	11, 460	11, 480	100. 0

18-3 画像サービスセンター処理件数年度別推移



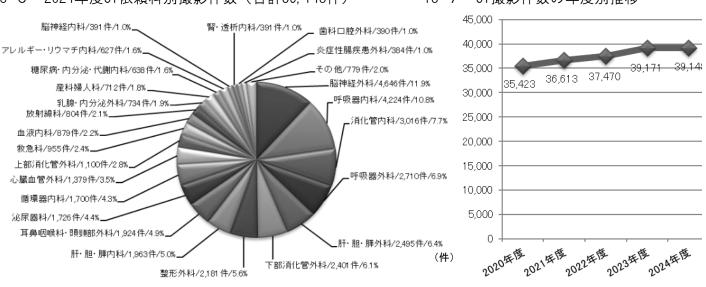
18-4 2024年度依頼科別単純検査件数(合計69, 257件)





18-6 2024年度CT依頼科別撮影件数(合計39,148件)

18-7 CT撮影件数の年度別推移



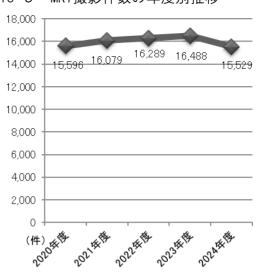
※300件未満はその他とした

18-8 2024年度MRI依頼科別撮影件数(合計15.529件)

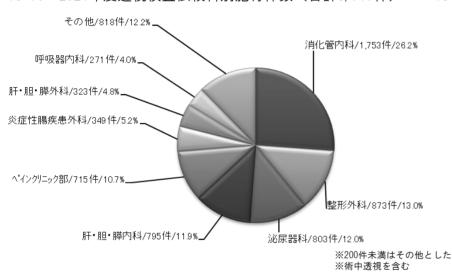
その他/2,968件/19.1% 肝・胆・膵外科/349件/2 2% 放射線科/353件/2.3% 産科婦人科/361件/2.3% 呼吸器内科/414件/2.7% 泌尿器科/520件/3.4% 耳鼻咽喉科・頭頸部外科/617件/4.0% 肝・胆・膵内科/1,719件/11.1%

※300件未満はその他とした

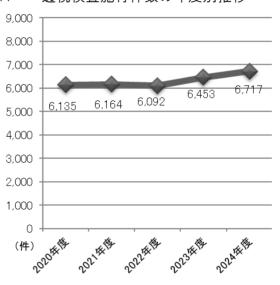
18-9 MRI撮影件数の年度別推移



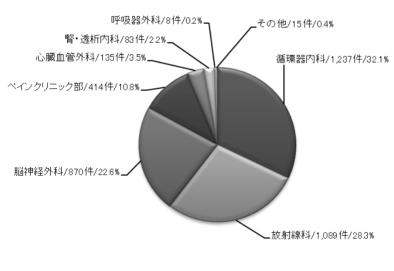
18-10 2024年度透視検査依頼科別施行件数(合計6,717件)



18-11 透視検査施行件数の年度別推移

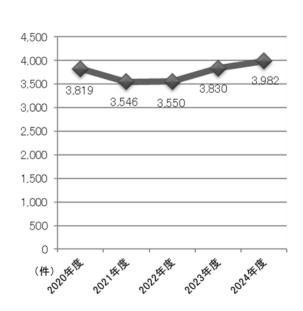


18-12 2024年度施行科別血管撮影施行件数(合計3,982件)

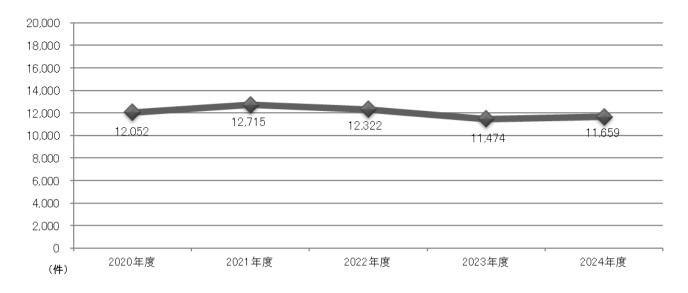


※アンギオCTを除く

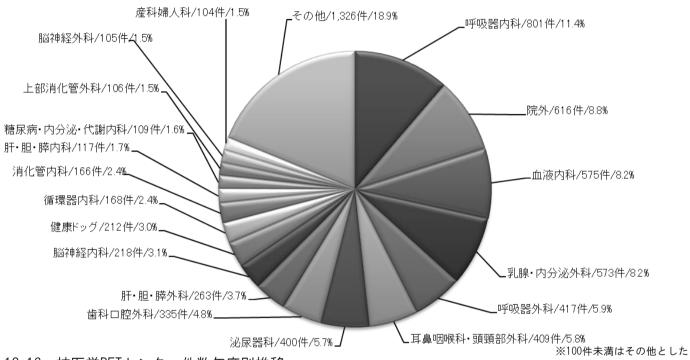
18-13 血管撮影件数の年度別推移



18-14 放射線治療照射件数年度別推移



18-15 2024年度核医学PETセンター依頼科別件数(合計6,514件)



18-16 核医学PETセンター件数年度別推移

